

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

昭和55年11月17日 第31報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Mallomonas reginae</i>	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	200		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	160		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	40		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	400	○	
(渦) <i>Glenodinium</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	340		
(緑) <i>Carteria</i> sp.	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	◎	
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	80		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	100		○
(緑) <i>Closterium</i> sp.	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	140		◎
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	20	0.9	0.6
(珪) 珪藻綱	800	36.7	6.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	0.9	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	340	15.6	8.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1000	45.9	84.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2180	総体積	7.27E+06
種類数	13	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし * 印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Fragilaria crotonensis</i>	400

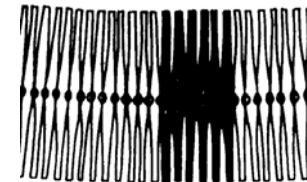
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンシヨウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンシヨウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Fragilaria crotonensis
(オビケイソウ)
珪藻綱

多数の細胞が中央殻面で互いに接しあって、帯状の群体を形成して浮遊する。